

無料

7月の上映会

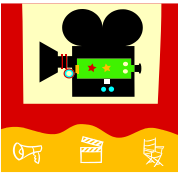
「警察日記」

●7月5日(木) 14:00～(開場13:45)

●生涯学習センターホールフラット(中央町2-6-23)

監督 久松静児 1955年(日活) 上映時間112分

出演 森繁久彌 三島雅夫 十朱久雄 三國連太郎 殿山泰司



村の治安を守るだけでなく、お金を工面してあげたり、捨て子の引取り先を捜して奔走したりと警察署は毎日大わらわ。忙しい時に限って、故郷に錦を飾るため大臣が帰郷するということで更に大騒ぎになってしまい……



東北の田舎町の警察に日々転がり込む笑いと

涙の人生模様！



お待ちしております！



●この上映会は、子どもさんや若いお母さんをはじめ、中高年の方々が「気楽に遊んで楽しむ場所を提供する」ことを目的に設立された“のびのびうさぎ”という任意団体が企画したものです。

8月は「サーカス」アメリカ映画の予定です



—お問い合わせ—

代表 山本真理子

山本携帯: 090-1056-9986

(Tel&Fax: 042-472-8732)

メ-ル: marippe@r3.dion.ne.jp

—「のびのびうさぎ」の活動の様子をご覧ください—

★のびのびうさぎのブログ「うさぎの茶の間日記」

<http://blog.goo.ne.jp/nobinobiusagi2014>

★東久留米のふれあい情報サイト「くるくるチャンネル」

<http://kuru-chan.com/blog/2013/03/04/0436nobinobiusagi/>



四方山話

第29回(2018.06)

～思い出話の効用～



今年は爽やかな5月を実感することが少なかったように思いますが、皆さまいかがお過ごしですか？ 地方出身の私はこの頃になると、田植えの準備の時期だなあなどと思ってしまう。先日、仕事で山形に行く機会がありました。車窓からまだ雪の残っている山々を眺め、目を近くに戻すと、耕運機で田んぼの準備をしている風景が流れていきました。とても

長閑(のどか)で、ちょっぴり癒される思いでした。私の子どもの頃には、なにせ田舎なものですから、牛を使って“代掻き(しろかぎ)”をしていた情景が思い出されたりして……

話は変わりますが、若い頃に経験したさまざまなことを思い出し、誰かに話してみることは、

認知機能の改善にも役立つのだそうです。「私の若いころはね、……」「昔のことだけだね、……」などと

話される中で、楽しかったこと、悔しかったこといろいろあるとは思いますが、今思い出してみると、懐かしく思えることも結構あるのではないのでしょうか？ 今、人生100年時代ということが言われています。実際に何歳まで生きることができるのかは“神様のみぞ知る”ですが、“自分なりに健康で楽しく”、そして“自分なりに充実した時間”を過ごすためにも、誰か身近な人に思い出話をされてみてはいかがでしょうか？

うさぎの茶の間でももちろん OK です。ぜひお出かけください。お待ちしております。

